

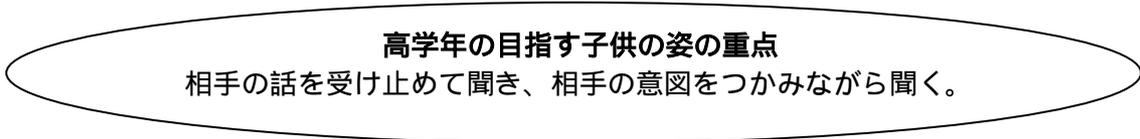
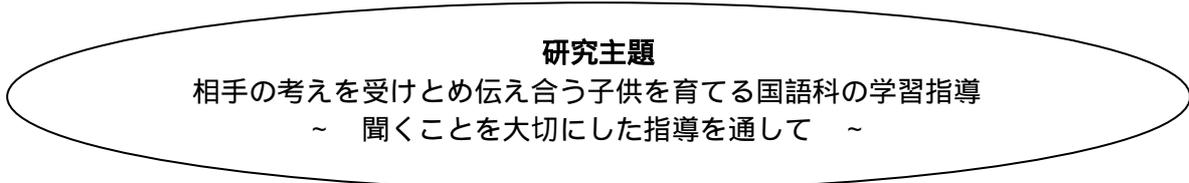
第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成16年11月2日(火) 6校時
 児 童 男10名 女6名 計16名
 指導者 八重 櫻 深 雪

- 1 単元名 言葉と文化について考えよう
 教材名 外来語と日本文化
 現代を生きる五音、七音
 「言葉と文化」展示館へ、ようこそ

2 単元について

- (1) 子供の実態と研究主題との関連



本単元を通して身につけさせたい力		
話 す	聞 く	話 し 合 う
話の組み立てを工夫しながら話す。	話し手の意図、伝えたい事、共に考えたい事を考えながら聞く。(活用)	



子 供 の 実 態		
話すこと	聞くこと	話し合い
なぜ、なにを、どのように知らせたいのかということをはっきりさせて話す。相手や目的、場などにふさわしい適切な言葉遣いで話す。話の組み立てを工夫しながら話す。	自分の考えや感想をまとめながら聞く。 話し手の意図、伝えたい事、共に考えたい事を考えながら聞く。 話し手の立場と意見を考えながら、話の内容を聞く。	互いに知識や考え、意見を出し合い、話し合う。 互いに知識や考え、意見を出し合い、討論形式で話し合う。 話し合いの目的や展開、収束、選択を考えた立場や意図をはっきりさせて話し合う。

(2) 単元について

<p>児童について</p> <p>子供たちは、5年生の「言葉の研究レポート」で、『言葉』を題材として学習した。また、6年生の「日本で使う文字」では、文字に関して歴史的・国際交流的な見方の学習をした。「短歌・俳句を味わおう」では、短歌と俳句の特徴や歴史に触れている。</p> <p>話すことに関しては、6年生の「『作家と作品』展示コーナーを作ろう」で、話の組み立てを工夫し、資料を活用した発表の学習をしている。しかし、1学期に実施した国語の勉強に関するアンケートに「思ったり感じたりしたことを話す勉強」が好きだと答えている子が16人中7人であったことから分かるように、話すことを苦手と感じている子も多い。実際に、事実と感想、意見を組み立てて話したり、結論や山場の位置付けなどを効果的に工夫して話したりすることは、十分に身につけているとはいえない。</p>	<p>聞くことについて</p> <p>本単元では、発表の練習をするときに聞き手の観点に沿って、話し手の意図を考えながら聞くことになる。全員が話し手の意図を考えながら聞くことを十分に身につけているとはいえないが、本単元での活動を通して、更にこの能力を高めていくものとする。</p> <p>国語の勉強に関するアンケートでは、聞くに関する各項目にハイと答えている子が、昨年度より1、2名ではあるが増えている。</p> <p>実際、4月からの「聞き上手な子」に関する指導では、「真げんに聞く心」や「理解しようとする心」の「心」に関する成長が見られてきた。また、「まっすぐに見る目」の「体」に関する指導も育ってきている。</p> <p>「技」に関しては、機会あるごとに話型を利用して指導している。しかし、特に「聞き分ける」「聞き入る」の話型を使うことは難しい</p>	<p>のが実態である。</p>
<p>教材について</p> <p>本単元は、複合</p> <p>単元で「外来語と日本文化」「現代を生きる五音、七音」「『言葉と文化』展示館へ、ようこそ」の三つの教材からなっている。はじめの二つの教材を読むことを通して、言葉と文化について「もっと知りたい」「～してみたい」ということを子供が発見し、三つ目の教材での表現活動につなげるように構成されている。</p> <p>「『言葉と文化』展示館へ、ようこそ」では、言葉と文化について調べ、書いてまとめることを主なねらいにしている。また、それを5年生に発表することにより、学習指導要領の話すこと・聞くことの内容ア「考えたことや自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫しながら、目的や場に合った適切な言葉遣いで話すこと。」を身につけるのに適した教材であるとする。</p>	<p>話し手の意図、伝えたい事、共に考えたい事を考えながら聞く。(活用)</p>	<p>指導にあたって本単元の学習</p> <p>後、「国語っておもしろいなあ。」「もっと、言葉について学習したいなあ。」と感想がもてるようにさせたい。</p> <p>そのために、まず、生活の中の外来語に興味をもたせたい。その上で、「言葉と文化」の学習について見通しをもたせたい。</p> <p>「外来語と日本文化」では、要約文にまとめる学習をするが、筆者の意図をとらえることによって、「言葉と文化」の関係を押さえたい。また、「現代を生きる五音、七音」では、音読を通して、日本独特のリズムを楽しませるとともに、短歌や俳句は現在も生き続ける表現形式であることを実感させたい。これらの活動を通して「言葉と文化」に対する課題意識を引き出しておきたい。</p> <p>そして、「『言葉と文化』展示館」では、意欲をもって課題に取り組みせ、調べた事について組み立てを意識して発表させたい。</p>

3 単元の目標と評価規準

主目標 副目標

	目 標	評 価 規 準 (B)
関 ・ 意 ・ 態	言葉と文化について自分の考えをもちながら文章を読んだり調べたりしようとしている。	言葉と文化について自分の考えをもったり、課題をもって調べたりしようとしている。
聞話 くす こ と と ・	話の組み立てを工夫しながら話すことができる。(ア)	事実と感想・意見とを組み立てたり、資料や例示を活用したりして話している。
書 く こ と	各自取り組んだ内容を、分かりやすくまとめることができる。(ア)	5年生に分かるように、羅列的にならず、ポイントを押さえてまとめている。
読 む こ と	言葉と文化について考える目的で文章を読み、内容(由来や歴史、特質など)を的確に押さえながら要旨をとらえ、要約することができる。(イ)	三つのまとまりに分けて問題提示部分と課題の答えである部分を読み、要約文を書いている。
言 語 事 項	語感・言葉の使い方などに関心をもつことができる。(ウ(エ)) 文語に親しむことができる。(エ(ア)) 言葉についての由来や歴史、特質などについて理解を深めることができる。(ア(イ)ウ(イ))	五音、七音を基調とした作品をリズムのよって音読している。 短歌・俳句を繰り返し音読している。 外来語について調べている。

4 学習指導計画(12時間:話・聞2、書5、読5)

過程	時	学 習 活 動	指導上の留意点	具体の評価規準(B)と評価方法
つ か む	1	内容に興味をもち、単元の見通しを立てる。 「言葉と文化」について考え、調べたことを発表しよう。	・『言葉と文化』展示館へ、ようこそ」の活動に触れ、単元全体の見通しをもたせる。	外来語について自分の生活と関連づけて考え、感想をもっている。(読) [感想の分析]
追 求 す る	2	「外来語と日本文化」を読み、課題を考えよう。 全体の構成と問題提示部分をとりえ、自分の課題として意識する。	・「こんなこと」という指示語に具体的な言葉を補うことで、意味の通る課題提示の文を作らせる。	「外来語と日本文化」を読み、課題提示の文を作っている。(読) [課題提示の文の分析]
	3 ・ 4	課題の答えを見つけてまとめよう。 具体例の部分とまとめの部分を読み取り、課題の答えを見つけてまとめる。	・課題提示の文に合うようにまとめさせる。	課題に対する答えの文を要約している。(読) [答えの文の分析]

追 求 す る	5	<p>「現代に生きる五音、七音」を読み、五音、七音のリズムを楽しもう。</p> <p>「現代に生きる五音、七音」を読み、例文（詩など）を声に出して読んで、リズムを楽しむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム感のよさや快い言葉の響き、覚えやすさ、そして、このリズムが生活の中にたくさん生きていることを感じ取らせる。 	<p>リズムをとりながら、楽しんで音読している。（読）</p> <p>[音読の様子の観察・感想の分析]</p>
	6	<p>調べるテーマを決めよう。</p> <p>『言葉と文化』展示館へ、ようこそ」を読み、活動の方向を理解し、取り組む課題を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前の二教材での驚きや感動を継続させ、新しい課題に取り組んでみようという意欲をもたせる。 	<p>目的意識をもって課題を決めている。（書）</p> <p>[ワークシートの分析]</p>
	7 ・ 8 ・ 9 ・ 10	<p>調べたことを書いてまとめよう。</p> <p>「何を」「どのように」調べ、「どうまとめるか」をはっきりさせながら、調べてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料作りは、4時間の時間配分を考えさせながら、計画的に行わせる。 	<p>5年生に分かるように、羅列的にならず、ポイントを押さえてまとめている。（書）</p> <p>[資料の分析]</p>
	11 本 時	<p>調べたことやそれに対する自分の考えを分かりやすく発表する練習をしよう。</p> <p>感想や質問を聞きながら発表の練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく話すためには、「テーマ」「調べた理由」「調べて分かったこと」「調べたことに対する自分の考え」の4点の順序を工夫して話すことが大切だということを押さえる。 	<p>調べたことについて、資料を示しながら、4点の順序を工夫して話している。（話・聞）</p> <p>[練習の様子の観察・ワークシートの分析]</p>
ま と め る	12	<p>「言葉と文化の」展示館を開こう。</p> <p>5年生を迎えて展示館を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって発表させる。 	<p>話の内容に合わせて資料の大事な部分を示しながら、4点の順序を工夫して話している。（話・聞）</p> <p>[発表の様子の観察]</p>

5 本時の学習

- (1) ねらい 自分の課題について調べたことや考えたことを話の組み立てを工夫しながら話すことができる。
- (2) 授業仮説 発表の練習をするときに、ペアやグループで練習を行い、聞き方の観点に沿って感想をもらうことにより、話の組み立てを工夫しながら話すことができるようになるであろう。(仮説1、2)

(3) 展開

段階	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	具体的評価規準と評価方法
つかむ	7分	<p>1 本時の学習課題を把握する。 調べたことやそれに対する自分の考えを分かりやすく発表する練習をしよう。 (1) 学習課題を確認する。 (2) 「発表のポイント」を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく話すためには、「テーマ」「調べた理由」「調べて分かったこと」「調べたことに対する自分の考え」の4点の順序を工夫して話すことが、「発表のポイント」の中でも大切だということを押さえる。 	
追求める	32分	<p>2 発表の練習をする。 (1) 最初のグループが発表し、聞き方の観点に対する感想を聞く。 (2) 感想をもとに、工夫を加える。 (3) 次のグループが発表し、聞き方の観点に対する感想を聞く。 (4) 感想をもとに、工夫を加える。 (5) 最初のグループが発表の練習をする。(1)(2)を繰り返す。 (6) 次のグループが発表の練習をする。(3)(4)を繰り返す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・「テーマ」「調べた理由」「調べて分かったこと」「調べたことに対する自分の考え」の4点の順序を工夫して話す。 ・話の内容に合わせて資料の大事な部分を示す。 ・聞き手に呼びかけるように話す。 ・話す速さや間、声の強弱を工夫して話す。 <ul style="list-style-type: none"> ・「発表のポイント」の中から、自分の課題を見つけさせる。その課題をペアに「聞く観点」として伝え、聞いてもらう。 ・話の内容に合わせて資料の大事な部分を示し、4点の順序を工夫して話している児童を練習の途中で紹介する。 	<p>A 話の内容に合わせて資料の大事な部分を示しながら、4点の順序を工夫して、より効果的に話している。</p> <p>B 調べたことについて、資料を示しながら、「テーマ」「調べた理由」「調べて分かったこと」「調べたことに対する自分の考え」の4点の順序を工夫して話している。</p> <p>C 話す順序を板書や教師の指示によって確認しながら、話すようにさせる。 [練習の様子の観察・ワークシートの分析]</p>
まとめる	6分	<p>3 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 (1) 学習の感想をまとめる。 (2) 感想を発表する (3) 次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「テーマ」「調べた理由」「調べて分かったこと」「調べたことに対する自分の考え」の4点の順序を工夫して話すことができたかを振り返らせる。 ・聞き手から、どのような感想をもらってどのように工夫できたかを発表させる。 	

「言葉と文化」展示館へ、ようこそ

課

調べたことやそれに対する自分の考えを
分かりやすく発表する練習をしよう。

発表のポイント

- ・「テーマ」「理由」「分かったこと」「考え」の四点の話す順序を工夫して話す。
- ・話の内容に合わせて資料の大事な部分を示す。
- ・聞き手に呼びかけるように話す。
- ・話す速さや間、声の強弱を工夫して話す。

話す順序の基本

テーマ 理由 分かったこと 考え